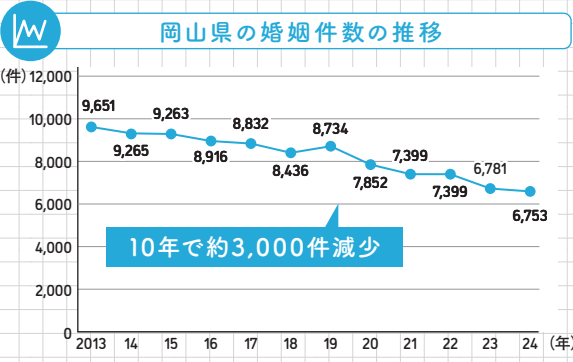


結婚

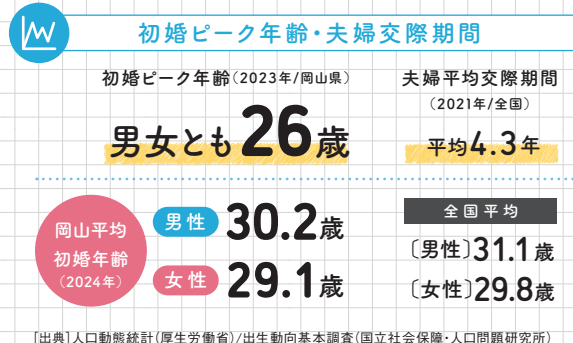
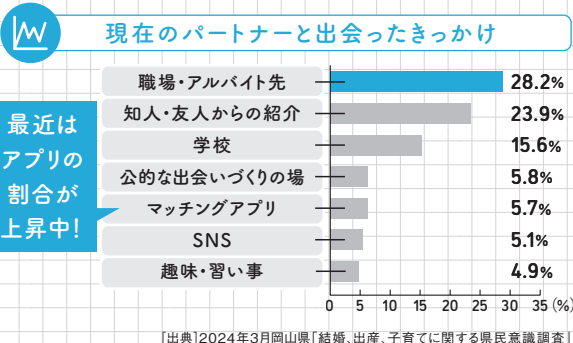
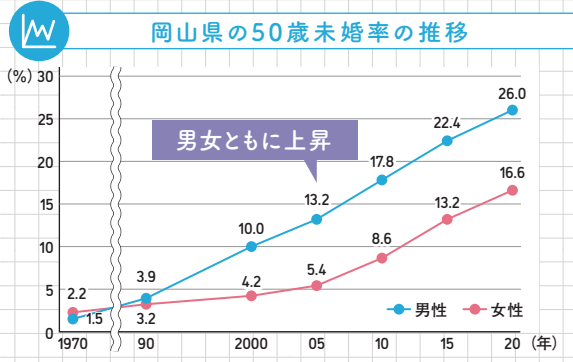
結婚は義務じゃなく、人生を豊かにする選択肢のひとつ。
「自分はどうか」「誰と、どんな家庭を築くか」をじっくり考えることが大切。



データから見る岡山県の結婚に関する割合の変化



結婚のタイミングや形は昔と変わってきています。
ふとした時に、思いがけない出会いがあるかも!?



妊娠・出産

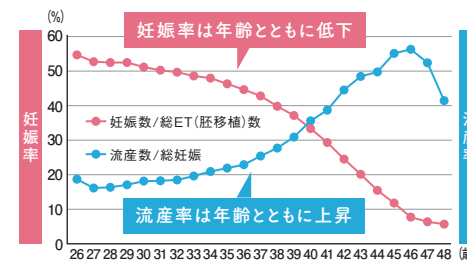
妊娠・出産は、人生において非常に大きな影響を与える節目のひとつ。
互いを思いやり、手を取り合いながら準備していくことが大切。

年齢は妊娠・出産に影響する?

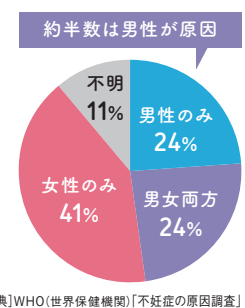
年齢を重ねるにつれて、妊娠しやすさ(妊よう性)は徐々に低下していきます。特に30代後半以降は、妊娠の可能性が下がるだけでなく、妊娠できたとしても流産のリスクが高まる傾向があります。

また、不妊は女性に原因があると思われがちですが、原因はさまざま、不妊に悩むカップルの約半数には、男性側にも要因があるとされています。

ART妊娠率と流産率(年齢別)



不妊の原因(男女比)



若いうちから意識するプレコンセプションケア

プレ(pre)は「前の」、コンセプション(conception)は「妊娠」を意味します。つまり現在の体の状態を知り、生活習慣の見直しや、将来の妊娠・出産や子育てに備えて、年齢とともに訪れる体の変化やいろいろな病気について正しい知識を身につけ、健康に向き合うことです。自分自身と家族、そして将来生まれてくる赤ちゃんの健康に役立てるために大切です。

今の生活習慣を振り返ってみよう!



気になる症状があれば、早めに産婦人科(婦人科)を受診しよう!

避妊具での予防や検査で早期発見・治療が大切!

☐ やせすぎてない?

生理(月経)が止まり妊娠しにくくなり、不妊治療が必要になってしまうかも…
やせたままで妊娠すると赤ちゃんに影響がでる可能性も…(低出生体重児など)

☐ 月経トラブル、放置してない?

月経トラブルを放置してしまうと子宮や卵巣の病気が進行して将来の不妊につながるかも…

☐ 性感染症の予防・検査してる?

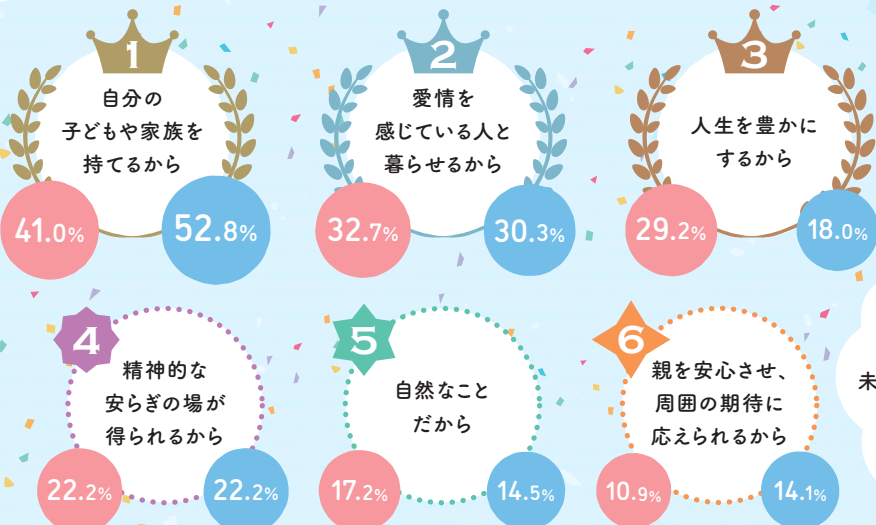
性感染症にかかったまま放置してしまうと男女ともに不妊のリスクが高まります…

結婚したいと思う(思った)理由や結婚のメリットTOP6!

【出典】2024年3月岡山県「結婚、出産、子育てに関する県民意識調査」

岡山県在住の男女
● 女性(8,574人)
● 男性(6,155人)

パートナーや子どもへの思いが大半を占める結果に!



出産に関する公的支援制度

出産育児一時金

1児につき原則50万円
(特定の条件では48.8万円)

妊娠4ヶ月以上での出産(流産・死産含む)に支給。病院に直接支払う「直接支払制度」あり。出産費用が一時金未満なら差額も受け取れる。

出産手当金

標準報酬日額の2/3 × 日数分

就労者対象。出産予定日の42日前(多胎妊娠98日前)～出産後56日まで支給。休業中の収入減を補填。

高額療養費制度

自己負担限度額超え分を給付
(例:年収約370万円→月の自己負担上限額57,600円)

帝王切開など高額な医療費がかかった場合、所得に応じた上限を超えた額が支給される。事前に「限度額適用認定証」の取得が推奨される。

妊娠・出産について悩んでいる人へ。一緒に考え、支えてくれる心強い味方を紹介します。

岡山県不妊専門相談センター
「不妊・不育とこころの相談室」

不妊治療・心の相談

おかやま妊娠・出産サポートセンター「妊娠・安心相談室」

妊娠～子育てまでトータル支援

「赤ちゃんがほしいのに、なかなか授からない」「流産や死産をくり返してつらい」そんな悩みをひとりで抱えないで大丈夫。不妊や不育症で悩む方のために、専門医・助産師・心理カウンセラーがチームでサポートします。



「妊娠したかもしれない」「産むかどうか悩んでいる」「誰にも相談できない」そんな悩みを助産師や医療スタッフに無料で相談できます。あなたの思いに寄りそいながら、一緒に考えてくれる場所です。

